

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	利用者との会話の中で、過去の思い出話に傾聴していると、意外な生い立ちを見つけることがある。しかし、ゆっくりと寄り添うことが出来ないこともあり想いを汲み取る機会を逃してしまうことがある。	ひとり一人にゆっくり寄り添い個々の想いをしっかりと汲み取り、楽しかった思い出を振り返る機会を設ける。過去を思い起こすことで、気持ちの安定やコミュニケーションの活性化にもつなげる。	回想法を用いて、その人が得意だったことや自慢できることなどの思い出話を共感的に傾聴する。また、輝いていた自己を再確認しながら過去の自信や希望を取り戻せるようコミュニケーションを深めていく。	6ヶ月
2	110	生活記録への記載が不十分な為、ケアプランに反映できていないことがある。利用者のちょっとした変化を見逃さず、記録を確実に行う。また職員同士で情報共有を行い利用者一人ひとりに適したケアプランに繋げる。	利用者それぞれの想いを把握することで、各利用者のニーズに合ったケアプランを作成することができる。	日常生活において利用者の想いをしっかりと汲み取ることで、本人が楽しく生活を送ることができるようにする。その際、職員が気付いたことを細目に記録し、利用者のケアやケアプランに反映させていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。